

# 資格課程

本学通信教育部では、学芸員資格を取得することができます。

## 博物館学芸員課程 (全コース対象 ※イラストレーションコースおよび書画コース除く)

### 学部生

博物館学芸員課程(学部生)では、大きくわけて「1、博物館法施行規則に定める科目(全コース共通)」「2、関連科目」群の単位の修得が必要です。

### 資格取得に必要な履修単位数

履修科目	必修単位数	選択必修単位数
1、博物館法施行規則に定める科目(全コース共通)	19単位	0単位
2、関連科目	0単位	10単位
履修科目単位数合計	29単位	

※卒業までに所定単位を修得することが必須となりますが、博物館学芸員課程で修得した博物館法施行規則に定める科目の単位は、卒業要件の「その他」の単位に含めることができます。

### 資格取得に必要な履修科目

**TR** テキストレポート科目 **S** スクーリング科目 **WS** Webスクーリング科目 **必** 必修科目 **選必** 選択必修科目

※下記でご紹介する科目は2022年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

#### 1、博物館法施行規則に定める科目(必修)

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
博物館概論	TR	必	2	有	博物館の歴史や種類、ならびに現代における博物館の存在意義について学ぶ。
博物館経営論	TR	必	2	有	博物館の運営について、経営的な視点から学ぶ。
博物館資料論	TR	必	2	有	博物館における資料の収集・整理・研究・還元という一連の流れを理解し、資料の効果的な活用について学ぶ。
博物館生涯学習概論	TR	必	2	有	生涯学習における博物館の役割について学ぶ。
博物館情報・メディア論	TR	必	2	有	博物館が発信する情報とメディアの変遷を理解し、デジタル化する社会の中でのその活用の利点と問題点について学ぶ。
博物館教育論	TR	必	2	有	社会教育機関としての博物館の教育活動の理論と実践を理解し、博物館の教育機能について学ぶ。
博物館資料保存論	TR	必	2	有	展示による資料の劣化を防ぐために、なおかつ良好な状態で後世に伝えていくために、博物館が行っている資料保存をめぐる環境整備について学ぶ。
博物館展示論	TR	必	2	有	展示の形態、展示メディアの種類、展示を通じての教育活動について理解し、展示を多角的に学ぶ。
博物館実習1(事前指導)	S	必	1		館園実習に先立ち、博物館の仕組みと全体像を理解し、その上で、美術品の取り扱いを通じ、学芸員としての基本的な心得を学ぶ。
博物館実習2(館園実習)	S	必	1		学芸員の仕事を実地で学ぶ。
博物館実習3(事後指導)	S	必	1		見学実習を行い、グループワークを通じて博物館の未来に対する洞察力を養う。

## 2. 関連科目(選択必修)

分野	科目名	科目区分	S/T区分	単位数	単位修得試験	必/選
文化史	日本文化論※①	総合教育科目	◆TR	2	有	選必 いずれか1科目必修
	ヨーロッパ文化論※①		◆TR	2	有	
	文化研究2		◆TR	2	有	
美術史	芸術史講義(日本)1	学部共通専門教育科目	WS	2	—	A  選必 A・Bどちらかの 区分を選択し、 選択した区分から いずれか 2科目必修
	芸術史講義(日本)2		WS	2	—	
	芸術史講義(ヨーロッパ)1		WS	2	—	
	芸術史講義(ヨーロッパ)2		WS	2	—	
	芸術史講義(アジア)1		WS	2	—	
	芸術史講義(アジア)2		WS	2	—	
	芸術史講義(近現代)1		WS	2	—	
	芸術史講義(近現代)2		WS	2	—	
	美術史(日本)1	学部共通専門教育科目	◆TR	2	有	B ※②
	美術史(日本)2		◆TR	2	有	
	美術史(ヨーロッパ)1		◆TR	2	有	
	美術史(ヨーロッパ)2		◆TR	2	有	
	美術史(アジア)1		◆TR	2	有	
	美術史(アジア)2		◆TR	2	有	
	美術史(近現代)1		◆TR	2	有	
	美術史(近現代)2		◆TR	2	有	
	考古学	列島考古学	総合教育科目	◆TR	2	有
民俗学	文化研究1	総合教育科目	◆TR	2	有	必
必要単位数合計				10		

※① 芸術教養学科の方は該当しません。

※② 芸術教養学科・アートライティングコースの方は該当しません。

## 科目等履修生(博物館学芸員課程)

科目等履修生(博物館学芸員課程)では、「1、博物館法施行規則に定める科目(必修)」合計19単位の単位修得をもって修了です。  
(ただし、資格取得には日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有することが前提です。)  
また、「2、関連科目(選択)」も履修することができます。

### 資格取得に必要な単位数

履修科目	必修単位数	選択単位数
1、博物館法施行規則に定める科目	19単位	0単位
2、関連科目	0単位	8単位
履修科目単位数合計	19~27単位	

### 資格取得に必要な履修科目

◆ TR テキストレポート科目
 ● S スクーリング科目
 ■ WS Webスクーリング科目
 必 必修科目
 選 選択科目

※下記でご紹介する科目は2022年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

#### 1、博物館法施行規則に定める科目(必修)

科目名	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
博物館概論	◆TR	必	2	有	博物館の歴史や種類、ならびに現代における博物館の存在意義について学ぶ。
博物館経営論	◆TR	必	2	有	博物館の運営について、経営的な視点から学ぶ。
博物館資料論	◆TR	必	2	有	博物館における資料の収集・整理・研究・還元という一連の流れを理解し、資料の効果的な活用について学ぶ。
博物館生涯学習概論	◆TR	必	2	有	生涯学習社会における博物館の役割について学ぶ。
博物館情報・メディア論	◆TR	必	2	有	博物館が発信する情報とメディアの変遷を理解し、デジタル化する社会の中でのその活用の利点と問題点について学ぶ。
博物館教育論	◆TR	必	2	有	社会教育機関としての博物館の教育活動の理論と実践を理解し、博物館の教育機能について学ぶ。
博物館資料保存論	◆TR	必	2	有	展示による資料の劣化を防ぐために、なおかつ良好な状態で後世に伝えていくために、博物館が行っている資料保存をめぐる環境整備について学ぶ。
博物館展示論	◆TR	必	2	有	展示の形態、展示メディアの種類、展示を通じての教育活動について理解し、展示を多角的に学ぶ。
博物館実習1(事前指導)	●S	必	1		館園実習に先立ち、博物館の仕組みと全体像を理解し、その上で、美術品の取り扱いを通じ、学芸員としての基本的な心得を学ぶ。
博物館実習2(館園実習)	●S	必	1		学芸員の仕事を実地で学ぶ。
博物館実習3(事後指導)	●S	必	1		見学実習を行い、グループワークを通じて博物館の未来に対する洞察力を養う。

#### 2、関連科目(選択)

科目名	S/T	必/選	単位数	履修内容
芸術史講義(日本)1	■WS	選	2	日本の造形芸術について、その成立から平安時代、鎌倉時代を中心に学ぶ。
芸術史講義(日本)2	■WS	選	2	日本の造形芸術について、近世および近代の絵画・工芸などを中心に学ぶ。
芸術史講義(ヨーロッパ)1	■WS	選	2	ヨーロッパの造形芸術の成立から盛期ルネサンスまでの展開を理解する。
芸術史講義(ヨーロッパ)2	■WS	選	2	盛期ルネサンスから20世紀はじめまでの造形芸術の歴史を辿る。